

	上海市 近郊	12年 (稼働)	愛知製鋼		工場新設によるネオジム磁石の中国生産	5億円	電動工具や車載用小型モーターの需要が拡大する中国で新工場を建設、日本から供給する磁粉を磁石に成形する。通常は不可欠のレアアースを含まない独自技術で引合が増えている。海外工場はチェコに続き2カ国目。(日刊工11.2.23)
台日古 河銅箔	台湾	13年1月 まで (増強)	古河電気工業		回路用電解銅箔の生産能力増強	59億円	パソコンや携帯電話の堅調な需要増を見込んで、現在の月産能力を800トンから順次引き上げ、1,200トン体制とする。競争力を持つ戦略製品と位置づける電解銅箔に経営資源を集中投資し、事業基盤固めにつなげる。(日刊工11.2.25)
パークア ウトレット (商業施設)	遼寧省 瀋陽市	12年春 (開業)	三菱地所	香港・シンフォニーホール ディングス	アウトレットモールの合弁開発	数十億円 (合弁 出資10 億円)	香港の衣料品メーカーと合弁で開発会社を設立し、13万平米の敷地に延床8万平米の建物を建設。商業施設の海外展開は初めてだが、消費拡大が続く中国で収益を確保できると判断。現地不動産運営のノウハウを蓄積し、他地域や東南アジアでの事業拡大もめざす。(日経11.2.26)
新工場	四川省 成都市 黒竜江 省大慶 市	13年 (建設) (総投資 計画は15 年まで)	スウェーデン・ ボルボ・カー	浙江吉利控股 集団(ボルボ の買収先)	高級車の新工場建設や新エネ車の開発、拡販	100億 ドル (8,200 億円、総 投資額)	年産10万台の新工場や第2工場を建設するほか、電気自動車などの開発も強化。中国での販売台数を10年の3万台から早期に20万台に伸ばしシェア20%を確保。世界では10年の37万台から20年には80万台へ倍増をめざす。(日経11.2.26)

## 2月の中国関連事業変更・再編企業

現地企業	所在地	設立	日本・外国企業	中国企業・機関	事業項目	事業費	概要
深圳主 力工場	深圳市	11年3月 (移管)	日立グロー バルストレ ージテク ノロジーズ		HDD磁気 ディスクの 生産拠点統 合	800万 ドル	本社を置く米サンノゼでの生産を深圳工場に移管。北米とアジアに分散する生産拠点の集約で、生産効率を引き上げ、納期短縮やコスト抑制でシェア向上につなげる。(日経産11.2.7)
			日本電産		現地法人の 再編		地域販売会社の日本電産(香港)を中国販売統括会社に格上げし、日電産(上海)国際貿易をその子会社に、さらに日電産(上海)の北京支店を法人化して日電産貿易(北京)とする。(日刊工11.2.8)
大林組 上海建 設	上海市	近日中 (清算)	大林組		中国市場か らの撤退		年間50億円の受注をめざし03年に設立したが、中国では現法資本金の5倍までの請負制限や、主要工事に外資規制があるため、受注伸張は困難と判断。すでに新規受注を停止、当面は事務所を残して保守業務を継続する。(FSB11.2.10)
広西梧 州荒川 化学工 業ほか	広西チ ワン族 自治区	11年 6月合併 7月清算	荒川化学工業		製紙用材料 などの生産 3子会社の 統合		生産の効率化を狙い、6月に広西梧州荒川に梧州荒川を吸収合併、7月以降に広西荒川を会社清算。ロジン誘導体や製紙・粘接着剤用材料の一貫生産体制を構築する。(日刊工11.2.10)
無錫華 夏計算 機技術	無錫市	11年1月 (サービス 開始)	NTTデータ、 みずほコー ポレート銀行		業務請負 (BPO)事業 の開始		中国グループ会社の無錫華夏を利用し、中国に進出した日系企業を対象にサービスを行う。みずほと協力し、まず経理事務の代行を6社から受託。今後は人事や総務にも範囲を広げ、3年後に年50億円規模の事業に育てる。(日経11.2.13)
中国現 法、 台湾・太 洋新技		11年 1月、4月	三菱化学		情報電子本 部への中台 専門組織設 置		中国・台湾の現地法人に「中国室」「台湾室」を設置。現地スタッフを常駐させて、現地の顧客ニーズに合わせた営業や技術サービスを行う。同本部の現地売上高で10年の120億円から12年には300億円をめざす。(日刊工11.2.15)
大連大 雪啤酒	遼寧省 大連普 蘭店市	当局の許 可あり次 第	ベルギー・ア ンハイザー ブッシュ インバブ	麒麟中国投資 (キリンHDの中 国子会社、上 海市)	東北3省で の製造・販 売事業から の撤退	非公表 (譲渡 額)	04年に38.7億円を投じて取得した大連大雪の保有株式すべて(発行済株式の25.0%)をアンハイザーに売却。想定した収益を得られなかったことから、遼寧省、吉林省、黒竜江省から撤退し中国の他の拠点に注力する。(朝日11.2.15)
	南京市		シャープ		液晶パネル 工場の建設 計画への変 更要求問題		建設申請した8世代技術を使う工場について、中国政府が最新鋭の10世代技術を投入した計画への変更を求めている。10世代である堺工場の稼働率低下や技術流失の懸念から、同社の対応が注目される。(読売11.2.21夕)

東風井関	湖北省襄陽市	12年末(実施)	井関農機	東風汽車の傘下企業	農耕機生産における原材料調達の現地化	現地調達率を合弁会社「東風井関」の襄陽新工場で100%に、常州工場でも現在の50%から60%強に引き上げる。12年末時点の調達コストを現状比で3割程度圧縮して製品の価格競争力を高めるとともに、資源高による鋼板や油圧機構部品の値上がりに備える。(日経産11.2.28)
	江蘇省常州市	11年内(実施)				

## 2月の中国支店・事務所開設

日本・外国企業	本社所在地	支店・事務所名	現地所在地	概要
日本政策金融公庫	東京都千代田区	駐在員事務所	上海市	「海外展開資金」貸付制度の利用実績が10年4月～11年1月で約200件、約100億円(前年度は6件、5億円)と急拡大したことを受け、中小企業事業としてはバンコクに次ぐ2カ所目を11年度中に設置、国内外での情報収集・提供を進める。制度面では中小企業を経由して融資対象となる海外現地法人の規模を広げる。(日経11.2.3)
イオン	千葉県美浜区	イオン中国(仮称)	北京市	11年度上期に現地法人4社を傘下に置く持株会社として設立。市場調達や商品開発、店舗開発などの機能を集め、スーパーや専門店などイオングループ企業の進出を支援する。日本本社の社長が直轄する中国事業部門も新設、アジア事業の陣頭指揮に立つ。12年度はクアラルンプールに東南アジア本社も設立。(日経11.2.8)
日本貿易振興機構(ジェトロ)	東京都港区	海外事務所	湖北省武漢市	3月25日に開設。中国では7カ所目、内陸部では初めて。日系企業が90社進出、大学数52校と優秀な人材を確保しやすく人件費も沿岸部より1～2割安い、上海や広州など大消費地が半径1,000km以内にあり新高速鉄道で4～5時間という地の利を生かして、中小のメーカーや流通業者の進出を支援する。(FSB11.2.10)
千趣会		直営店(追加10店舗)	遼寧省瀋陽市・大連市など	これまで上海や北京、青島の百貨店やショッピングセンターで6店舗を展開してきたが、今後は3月開業の瀋陽店をはじめ東北部などに13年未までに16店舗体制にする。店舗数を増やすことで知名度向上を図り、主軸のネット通販事業と合わせた現地売上高で10年の1億円から13年には10億円をめざす。(日経産11.2.15)
松島機械研究所	北九州市八幡区	駐在員事務所	西安市	上海・北京に次ぐ3カ所目、バンコクにも開設。主要顧客の鉄鋼業界が中国などで高炉を含む設備の新設計画が相次ぐなか、鉄鉱石や石炭のコンベヤー周辺機器や現地仕様製品の受注に向け営業体制を充実させる。10年度13億円の売上高を11年度に倍増、海外比率で同じく20%から16年度は50%をめざす。(日刊工11.2.22)

## 2月の中国企業・機関の海外進出

中国企業・機関	進出地	日本・外国企業	事業項目	概要
湖南科力遠新能源(湖南省)	神奈川県茅ヶ崎市	パナソニック(受け皿子会社:湘南エナジー)	自動車用ニッケル水素電池事業の買収	三洋電機の買収にあたり中国でのシェアを下げるため独禁法当局から同事業の売却を求められていたパナソニックが、新設の湘南エナジーを介して4月末までに同事業株式を4,000万元(約5億円)で湖南科力遠に売却。知的財産権の使用も許諾する。湖南科力遠は茅ヶ崎市の工場運営に乗り出す。(日経産11.2.2)
RSテクノロジーズ(中国系ファンドなどが出資、本社は東京都品川区)	宮城県大崎市	ラサ工業	シリコンウエハー再生事業の買収	大崎工場の生産設備を数億円で取得、一部建屋を借り受ける形で、11年末までに年間160万枚を生産し、13年に370万枚まで拡大する。ラサの従業員も年内に計180人を再雇用する計画。(日経産11.2.8)
信永中和(日本法人:信永東京)			大手会計事務所による会計監査の拠点設置	旺盛な海外投資意欲を受け、中国企業が日本につくった子会社の監査や対日M&Aをサポートするほか、日本企業による対中投資の支援も視野に入れる。中国系監査法人の国内設置は初めて。(日経11.2.12)
中国石油天然気集団(CNPC)	カナダ	加・エンカナ	天然ガス権益の買収	買収額は54億カナダドル(約4,500億円)で、CNPCとしては過去最大。双方が折半出資の合弁会社を設立し、エンカナがカナダの2州にまたがる天然ガス権益の50%を同社に移す。(日経11.2.11)
大連の水産会社(複数、非公表)	国後島、色丹島	露・ボズロジエーニエ	ナマコ・ホタテ養殖の合弁事業	基本合意したことなどをロシア漁業中が表明。水産物の養殖に関するロシア新法成立の動きから、韓国など外国企業の北方領土への進出が活発になるという。日本政府筋は反発。(日経11.2.16、毎日11.2.17)

## 3月の中国関連の合弁・全額出資・合作企業

設立企業名	所在地	日本・外国企業	中国企業・機関	事業項目	資本金	概要
日爵海食品貿易(上海)	上海市	ニチレイフーズ(40%)、 ジェーシー・コムサ(30%)	海通食品集団上海(30%)	外食チェーン向け冷凍食品の合弁製販会社		4月に営業開始。ニチレイが商品開発、ジェーシーが外食店の運営ノウハウを生かしたマーケティング、海通が販売を担う。生産は海通やニチレイの現地工場を活用する。沿岸部の外食需要を取り込み、12年売上高で20億円をめざす。(日経産11.3.1)
台湾・台益豊	台湾 新北市	豊田通商(20%)		潤滑油製造会社の第三者割当増資引受	2億円 (出資額)	低燃費車市場が拡大するなか、潤滑油の原料調達から製造・販売まで、豊田通商が内外で進めるバリューチェーン構築の一環。台益豊は3月から桃園県の新工場で自動車用低粘度潤滑油を生産。(日刊工11.3.1)
		京二(約67%)	鄭州市ダイヤモンド精密製造(約33%)	掘削工具の合弁販社	1,500万円	京二は機械工具商社、鄭州ダイヤは自動車エンジン加工用工具などの製造会社。8～9月に営業を始め、中国進出日系企業向けに13年にも月商500万円、単月黒字化をめざす。京二初の海外現法。(日刊工11.3.3)
東莞中駿浅野精密技術	広東省 東莞市	浅野(40%)、 シンガポール・中興精密技術(60%)		射出成形用金型の合弁生産会社	1億円 (出資分)	新工場を11年5月に稼働。中興の系列企業を中心に金型を供給する計画。12年以降カメラ用部品などの弱電分野向け樹脂部品の量産を視野に入れて体制を整え、初年度に売上高3億円をめざす。(日刊工11.3.4)
山東鶴見紅旗科技	山東省	鶴見製作所(35%)	山東紅旗機電(65%)	水処理関連機器の合弁製造・販売会社	7,000万円	鶴見製のポンプを山東紅旗の販路に乗せて販売する業務提携の一環として5月に設立。日本国内では中長期的に水処理関連のインフラ整備の需要増が見込めず、中国市場での事業拡大を図る。(日経産11.3.7)
久保田国禎環保工程科技(安徽)	安徽省 合肥市	クボタ(50.5%)	安徽国禎環保節能科技(49.5%)	水処理プラントエンジニアリングと関連装置・機器の製造/販売会社	4.4億円	膜分離活性汚泥法(MBR)プラントや膜装置の製造・販売を合弁会社で、産業排水再利用や農村部環境対策向けプラントや機器の販売は独資会社で扱う。同社初の統括会社では、地域戦略の立案・実行、現地の既存会社と水処理関連の新会社、計7社への経営支援を強化する。(日刊工11.3.8)
久保田環保科技(上海)	上海市	クボタ(100%)		地域統括会社	8億円	
久保田(中国)投資					7,300万ドル (約60億円)	
日油(上海)商貿	上海市	日油(100%)		輸入販売子会社	50万ドル	ライフサイエンス、電子・情報、環境・エネルギーの各分野の製品群を中国で販売する。販社設立により、顧客サービス向上やマーケティングの強化を図る。(日刊工11.3.10)
高周波熱練(中国)軸承	山東省 済寧市	ネツレン(100%)		油圧ショベルなど建機部品の製販子会社	3,000万ドル (約24億円、 投資総額40億円)	中国での建機業界拡大から部品の需要増を見込み11年3月設立、11月工場稼働。月産能力は2,000台分で始め、自動車部品と合わせた12年度の現地売上高を11年度見込比57%増の80億円とする。(日経11.3.11)
康奈可(海門)汽車空調圧縮機	江蘇省 海門市	康奈可(中国)(カルソニックカンセイの中国統括会社100%)		カーエアコン用コンプレッサーの生産子会社	1,000万ドル (約8.2億円、 投資総額20億円)	中国での新車生産の増加に伴う需要増に対応し、海外3カ国目の同事業拠点として11年4月設立、12年4月稼働。主要顧客の日産現地工場に加え現地メーカーなど新規販売ルートの拡大をめざす。(日経産11.3.14)
豊達電機(崇左)	広西チワン族自治区 崇左市	フォスター電機(100%)		ヘッドフォンの生産子会社	1.386億円 (設備投資額1.89億円)	携帯音楽プレーヤーやスマートフォン向けに需要が急伸していることから、11年3月設立、4月稼働。完成品100万個、部品400万個の月産能力と、レンタル工場の活用による迅速な増産で対応する。(日経産11.3.15)
上海鴻羽来天覽展示	上海市	日本コパック(25%)、 上海コパック(75%)		衣料品店用ハンガー・マネキン・商品陳列台等の工場・運営会社の新設	1億円	11年3月稼働予定。これまで現地協力工場に委託していた製品を内製化し、物流コストなどを削減。中国では日本や欧米の衣料品大手のほか、現地の企業による出店が加速、需要増に対応する。(日刊工11.3.18)
合肥淀川盛餘鋼板(仮称)	安徽省	淀川製鋼所(60%)	台湾・センコースチール(40%)	白物家電用メッキ鋼板・カラー鋼板の合弁製販会社	65億円 (投資総額130億円)	11年7月会社設立、13年4月工場稼働。日系メーカーだけでなく現地メーカーにも売り込み、15年度に年間220億円の売上をめざす。日本からの輸出に比べ約20%のコストダウンを見込む。(日刊工11.3.22)

中興化成貿易(上海)	上海市	中興化成工業(100%)		フッ素樹脂製粘着テープや建築用膜材の販売子会社	6,000万円	市場調査で中国で競争力を発揮できると判断、従来の駐在事務所を法人化して事業拡大と顧客サービスの向上を図る。初年度売上高10億円をめざす。(日刊工11.3.23)
石川島芝浦機械(常熟)	江蘇省	IHIシパウラ(100%)		ディーゼルエンジン部品の製造子会社	358万ドル(3億円弱)	英パーキンスとの産業用ディーゼルエンジン製造合弁会社「無錫珀金斯芝浦発動機」向けにシリンダーブロックを年7万台分供給する。11年7月生産開始。(日刊工11.3.23)
三菱自動車管理	上海市	三菱自動車(100%)		技術・品質面などの管理・統括子会社	3,000万円(約3.7億円)	生産・販売・開発部門の中国関連会社6社に対し、市場調査や商品企画、調達部品の品質確保、生産・物流管理、不具合対応など支援・管理業務を行う。(日刊工11.3.23)
神鋼投資(神鋼商務諮詢(上海)を改称)	上海市	神戸製鋼所(100%)		既存コンサルティング子会社の増資による地域統括会社化	5,014万ドル(増資前14万ドル)	中国内で直接投資できる要件も整え、11年4月業務開始。鉄鋼、非鉄金属、溶接材料、建機など多くの中国事業部門の管理統括機能を強化し、年間2,000億円の中国関連事業を5~10年後に倍増する。(日経11.3.25)
三菱樹脂貿易(上海)	上海市	三菱樹脂(100%)		ポリエステル、電子・産業フィルムなどの販売子会社	1.5億円	製品の拡販に加え、コーポレート機能も設置して中国内のグループ各社の取りまとめを行う。15年度に売上高70億円、海外売上高比率45%以上をめざす。(日刊工11.3.25)
大井産業機械(広州)	広東省広州市(広州経済技術開発区)	大井産業機械(52.6%)、旭尚工(広州)貿易(旭商工社の現法、13.3%)	広州優地機電科技(34.1%)	自動車・家電向け部品専用組立機の合弁製作会社	440万円(約4,500万円)	日系家電メーカーの現地工場向け生産設備を受注し、現地の販路も整ったことで進出、現地メーカーの需要も掘り起こす。広州優地の既存工場と生産設備を利用。月間売上高700万円を見込む。(日刊工11.3.25)
武田中国投資	上海市	武田薬品工業		医薬品事業の統括持株会社	7,500万ドル(約60億円)	15年に世界2位の医薬品市場と予想される中国での販売力、事業基盤強化が目的。拡大戦略の立案・遂行のほか、製品開発の推進や投資活動全般を担う。(日刊工11.3.28)
大連保税物流園区近鉄国際物流	大連市(大連保税物流園区)	近鉄エクスプレス(100%)		保税ロジスティクス・サービスの現地法人		今後も高需要が見込まれる中国で大連地区5拠点目として11年4月営業開始。物流園区を利用し、主に半導体、電子部品、自動車関連で事業を展開する。(日刊工11.3.30)
月島環保機械(北京)	北京市	月島機械(100%)		水環境・産業分野のプラント・機器の販売子会社	2億円	工場の水処理や上下水道インフラの需要が急拡大する中国で営業活動を強化するため、11年6月に営業開始。初年度の売上高20億~30億円をめざす。将来は中国での製品設計や製造も検討。(日経産11.3.31)
	北京市	日本旅行(100%)		旅行代理店の現地法人	600万円(約7,800万円)	中国2拠点目として4月営業開始。独资の現法を2つ持つのは日本の旅行社では初めて。日本人の中国旅行や在中国日本人の旅行などを扱う。初年度320万円、15年度5億9,000万円をめざす。(日刊工11.3.31)

## 3月の対中プラント輸出・技術供与・業務提携・協力

日本・外国企業	中国企業・機関	所在地	事業項目	契約額	概要
米・グループ	騰訊控股(テンセント)		クーポン共同購入サイト「高朋網」の業務提携		グループの運営ノウハウや知名度とテンセントの6億人超の顧客基盤を組み合わせて事業展開。アリババ集団会長が参加する投資ファンドも出資。北京と上海でサービスを開始し他都市にも広げていく。(日経11.3.1)
日本ポリプロ	中国石油化工(シノペック)		ポリプロピレン(PP)製造技術のライセンス供与	非公表	シノペックが12年、広東省広州市に新設する年産20万トンのPP製造に採用。現地進出の日系自動車メーカー向け供給部品の原材料の品質向上につなげる。同グループへのライセンス供与は2件目。(日刊工11.3.2)
三井不動産	香港・瑞安集団、億達集団	大連市	住宅分譲・商業施設事業への参画		「大連ソフトフェアパーク2期」計画のサイトA(31万平米)とサイトC(132万平米)のうち6ブロックで、住宅、オフィス、ホテル、商業施設事業に参画。同社が中国の開発に参画するのは4件目。(日刊工11.3.3)
IHI	東風日産	湖北省襄樊市	自動車鋼板用大型プレス機械の受注	20億円規模	加圧能力2,400トン×1基と同1,000トン×3基の大型メカ式プレスの計4基で構成する高速タンデムプレスラインを12年夏に据え付ける。同社のプレス機械の大型受注はリーマン・ショック後では初めて。(日刊工11.3.3)